

8, 豊かな心の育成推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

○生徒一人ひとりが生き生きとした学校生活を過ごすよう、教職員が組織的・重層的な指導を進めます。

- ・教師が常に授業改善に努め、他と協働・協力し、正しく考え、判断し、行動する力を伸ばす授業を実践します。
- ・生徒が社会で生活するために必要な礼儀や正しい言葉づかいを身に付けさせます。
- ・社会の一員として、人との触れ合いを大切にし、地域や社会と積極的に関わろうとする生徒の育成を図ります。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	道徳教育の充実を図り、ルールやマナーを身につけ、思いやりや礼儀を大切にし、自分の行動に責任をもつ姿勢を育てる。	①各担任は年間1回以上道徳指導案を作成し授業を行う。 ②朝読書の時間を年間20日程度設定し、豊かな情操の育成を図る。 ③毎月一週間「あいさつ運動」を実施する。
担当	学習指導	

2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

全体的に人懐こい生徒が多く、コミュニケーションを積極的に図ろうとするが、相手の気持ちを考えずに言葉を発したり、場面の状況が読み取れない発言などが多いので、言葉の使い方や思いやりの気持ちを育てる必要がある。また、集団生活、社会生活に必要なルールやマナーを身に付け、何事にも責任と自覚をもって行動し、家族・地域・社会の一員として行動できるように指導していきたい。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実 (必須項目)

・道徳の時間において言葉によるコミュニケーション能力を高めるために、言語活動を多く取り入れる。例えば班ごとの討論の場面を設け、全体に発表する機会を多く作り、相手に自分の気持ちをしっかり伝えられるようにする。【視点1】

・面談などでワークシートを保護者に提示し、家庭との共通理解を図る。【視点1】

・各担任は年間1回以上道徳指導案を作成し、学年ごとその授業を実施する。【視点1】

指針2 体験学習の充実

・1年職業インタビュー、2年職場体験学習、3年保育体験学習などを通して様々な考え方や価値観を学び、自らの思いや考えを持てるようにする。【視点4】

・体験活動を通し、思いやりの心や規範意識、望ましい勤労観や職業観について自分の意見をもって考えていけるようにする。【視点4】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・横浜市人権作文や子ども国際平和スピーチコンテスト、人権の木などに取り組むことにより、自分と他者の人権を大切にすることを育てる。【視点6】
- ・学校全体道徳を実施し、全校で人権について考える時間を作り、人権感覚を育てる。【視点6】